

# 進路だより

第2号  
平成30年12月21日  
編集発行  
いわき光洋高校  
進路指導部

## 進学ガイダンス実施

### 進路講演会「私が出会ったいのちの記憶」

特定非営利活動法人 ジャパンハート 吉岡秀人氏

十月二十三日(火)、いわき明星大学児玉記念講堂において、平成三十年度進路講演会が開催されました。特定非営利活動法人ジャパンハート最高顧問で小児外科医の吉岡秀人氏を講師にお招きし、「私の出会ったいのち」の記憶、途上国医療の現場で戦い続ける



医師からのメッセージと題して講演をいただきました。吉岡先生は、ミャンマー・ラオス・カンボジアなどの発展途上国において多くの人たちに無償で医療支援を続けていらっしやいます。帰国時には講演活動等を多数されておられ、今回はその超多忙なスケジュールの合間をぬって講演をしてくださいました。

#### きっかけと信念

先生は十代の終わりに突然医者を目指したそうです。そのきっかけは、世界に目を向けたとき、人間の運命はたった飛行機

一時間の距離でこんなに違うものか？ほんのわずかな時空のずれで幸せが与えられてる自分はこのまま生きていくのか？という疑問だったそうです。そして同時に「どうせ医者になるなら医療を受けられない人のために医者になろう」と決意されました。三十歳でミャンマーへ渡った先生は苦勞の連続で何度もあきらめそうになりましたが「それでどうする？」という自分の声に奮い立たされたと言います。そしてやると決めた瞬間、理性が違う方に回転

を始め、やり遂げるためのアイデアが次々と絞り出されていったそうです。渡航から六か月後に初めての手術をしてから約二十年、先生は多くの命を救うだけでなく、患者の人生の質を上げることが信念に走り続けて来られました。講演では先生によって救われたたくさんの子どもの写真やその家族の記録、共に活動する日本人看護師の献身的な看護の様子などが写真や映像を通して伝えられました。

#### 先生からのメッセージ

吉岡先生がたった一人で始めた活動も今ではたくさんの方の支援者が支えています。その数は医療従事者だけでも年間約七百人。先生はこれを二十年以上に活動を広げていきました。講演は「時間の大切さを知り、目の前の時間を一生懸命本気で生かすことが成功の秘訣」という先生

#### 質疑応答より

からのメッセージで終了しました。先生は講演後の質疑応答でも、質問に対する回答を通して私たちの心に響く言葉をたくさん下さいました。

Q..海外で医療従事者として活躍する上で必要な素質や大切なことは？

A..「常識の力」がないと絶対だめ。つらそうだな、困ってそうだな、と相手の気持ちを察し、変化に気づくことに医療の知識は不要。ベースとなる「常識力」は長い時間をかけて身につけていくもので、この力こそが何をやる上でも成功のもとになるし、他から大切にされる要素にもなる。

Q..先生の生きる原動力は？

A..「最近のエネルギーは、このままでは終われない、という若い時とは全く異なる感情。若い時の苦い経験や失敗が人生後半のエネルギーになっている。だから若いみんなは

たくさん失敗して、その悔しい思いを忘れないでいたい。そういう意味では、若い時の最大のミスは挑戦をしないこと。なぜなら挑戦しない人には失敗がおこらないから。

Q..何かを始めるにあたって仲間や協力を得るために必要なことは？

A..「志を持ち、決してぶれないこと。自分がぶれてしまうと他人はついてこない。劇的な早さで世界が変化している今、誰も経験したことのない予測不能な未来を生き抜いていくためには自分でしっかりと

り考え、自分を信じることが大切。そうすればきっと人もついてくる。時に目を背けたくなるような途上国における医療現場の実態と、そこでひたむきに支援を続ける先生の姿から、生徒の皆さん一人ひとりが国際社会を生かせる一人の日本人として何ができるか、何をすべきか、真剣に考える貴重な機会になったことと思います。吉岡先生のご健康と、今後ますますのご活躍を心からお祈りいたします。

#### 吉岡先生の活動がわかるサイト・本

Twitter ジャパンハート @japanhearttokyo

Facebook ジャパンハート (Japan Heart)

Youtube ジャパンハートチャンネル

ブログ 発展途上国の子供を救え!

～小児外科医吉岡秀人の戦い～

<https://japanheart.exblog.jp/>

著書 ※ 救う力～人のために、自分のために、いまあなたができること

※ 死にゆく子どもを救え - 途上国医療現場の日記

折れない、迷わない、勇気がわく、タフに生きる言葉

命を燃やせ～いま、世界はあなたの勇気を待っている

飛べない鳥たちへ～無償無休の国際医療ボランティア

※印の本は本校図書室で借りることができます。

# 大学模擬授業実施

大学・短大・専門学校よりの講師を招聘

十二月十五日(木)、

一七生(二年次)生  
全員を対象とした

「大学模擬授業」が  
本校において実施さ

れました。各講座の  
講義内容等、詳細は

下記の表の通りです  
が、今年度は十七の

学校から二十一名の  
先生方をお迎えし、

模擬授業を実施して  
いただきました。生

徒たちがより実際の  
講義に近い形で授業

を受けることができ  
るよう、ほとんどの

大学で取り入れられ  
ている「一コマ九十

分」での実施となり  
ました。



講義終了後に寄せ  
られた意見・感想の  
一部を紹介します。

「実践的でとても興  
味深い内容ばかりで  
した。メモをとるよ

り自分で考えること  
がとても大変でした  
が、やりきった感が

すごくあってとても  
満足しました。不安  
だった大学への進学

がととても楽しみにな  
り、早く大学生にな  
りたいと思いました」

「将来についてまだ  
何も決まっていなかっ  
たけれど今回の授業

から少しずつ自分の  
やりたいことがわかっ  
てきたような気がし

た」「高校の授業で  
はグループディスカッ  
ションに取り組み機

会があまりないので  
とても新鮮でした。  
意見交換をしたり、

想像力を使ってディ  
スカッションしたの  
がとても楽しかった」

このように、より  
専門性の深い講義を

実践的な形式で受講  
できたことで、九十  
分が短く感じられた、  
という感想が多く見  
受けられました。



実践的な形式で受講  
できたことで、九十  
分が短く感じられた、  
という感想が多く見  
受けられました。

高校生のうちに上  
級学校の講義を体験  
するということは、  
大変貴重な機会です。  
お忙しい中、光洋生  
のために講義してく  
ださった上級学校の  
先生方に心より感謝  
申し上げます。また、  
一七生の皆さんには  
今回の機会を自身の  
進路選択に大いに役  
立ててほしいと思っ  
ます。また、進路指  
導部では次年度以降  
もこのような行事を  
計画していきますの  
で、一八生の皆さん  
も進路についての考  
えを深めておいてく  
ださい。

講座① 城西大学 現代政策学部 ベルトラニチュボシティアン先生 「国際政治について」  
講座② 千葉科学大学 危機管理学部 医療危機管理学科 日下部雅之先生 根本和明先生 宮内尚也先生 「救急救命と消防」  
講座③ 東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科 柴田理瑛先生 「心理学ってなに？」  
講座④ 東日本国際大学 三浦健一先生 「福島と世界の観光」  
講座⑤ 山形大学 工学部 機械システム工学科 峯田貴先生 「マイクロマシン・ナノマシンの広大な世界」  
講座⑥ 新潟食料農業大学 食料産業学部 中井裕先生 「最強の病原体を創造する」  
講座⑦ 山形大学 人文社会学部 人文社会学科 安田均先生 「日本の労働市場」  
講座⑧ 東洋大学 社会学部 メディアコミュニケーション学科 水野剛也先生 「大学という場所の特別な魅力 メディアコミュニケーション学の場合」  
講座⑨ 宇都宮大学 教育学部 青柳宏先生 「『心』を育む教育とは」  
講座⑩ 国立音楽大学 音楽学部 音楽文化教育学科 古川聡先生 「音楽心理学入門」  
講座⑪ 東北芸術工科大学 土田聖真先生 「美術・デザインを学ぶ意義」  
講座⑫ 仙台大学 体育学部 体育学科 入澤裕樹先生 「体育科教育について」  
講座⑬ 福島県立医科大学 看護学部 菅野久美先生 「いのちをまもり、暮らしを支える看護」  
講座⑭ いわき明星大学 薬学部 永田隆之先生 「薬剤師の役割」  
講座⑮ 福島県立医科大学 五百川和明先生 「作業療法って何？」  
講座⑯ 国際医療福祉大学 保健医療学部 理学療法学科 久保晃先生 「スポーツをしているとリハビリテーションが面白い」  
講座⑰ いわき短期大学 幼児教育科 鈴木まゆみ先生 「保育のはじまり～子どもを理解するということ～」  
講座⑱ 女子栄養大学・女子栄養短期大学 栄養学部 小澤陽子先生 「栄養学ってそういうこと」  
講座⑳ 筑波学院大学 経営情報学部 ビジネスマネジメント学科 ロバートジュベ先生

# 卒業生講話

ニカラグア  
女子野球選手として

十一月十二日(月)

六校時、体育館にお  
いて本校卒業生阿部  
翔太さん(〇九生)

の講話が行われまし  
た。阿部さんは本校  
を卒業後、桜美林大  
学に進学したのち一  
度は民間企業に就職  
しましたが、一念発  
起して青年海外協力  
隊員を志しました。

野球の指導者として  
ニカラグアに派遣さ  
れ、野球をやりたい  
という女子学生の熱  
い思いにこたえて女子  
野球を普及させまし  
た。今回の講演は来  
日中であつたニカラ  
グア女子野球選手四  
名も同時にお招きす  
る形で行われました。

政情不安の中にあつ  
ても常に希望と自国  
への誇りを忘れない  
彼女たちが、堂々と  
国歌を歌う姿が心に  
残っている生徒も多  
いと思います。阿部  
さんも言っていたよ  
うに、皆さんには学  
校で勉強できること

自体がとても恵まれ  
ているということをし  
てほしく思います。  
講演後に行われた交  
流会に参加した生徒  
の感想文を紹介しま  
す。

【生徒の感想より】  
彼女たちはとても  
強いと思いました。  
安全な国で生まれた  
私には、死と隣り合  
わせて生活する状況  
を想像することはで  
きません。実際に現  
地に行かなければ分  
からないその空気を  
このような機会を通  
して知ることができ、  
貴重な体験になりま  
した。

## 【今後の主な進路関連行事】

- 12/25(火)～28(金) 冬期課外(17・18生)
- 1/4(金)～9(水) ウィンターセミナー①(16生)
- 1/10(木)・11(金) ウィンターセミナー②(16生)
- 1/19(土)・20(日) ウンターセミナー(17・18生)
- 1/19(土)・20(日) 大学入試センター試験
- 3/22(金)～26(火) 春季課外